

(記入例)

令和〇 年 〇 月 〇 日

土 砂 搬 入 申 込 書

〔新規/変更(増・減 承諾番号_____)]

NPO法人 清風の里 殿

郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇

工事受注者 住 所 福岡県飯塚市〇〇〇1-2-3

法人名 〇〇建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 建設 太郎 印

現場代理人 氏名 建設 次郎

電話 000-000-0000

FAX 000-000-0000

携帯 000-000-0000

当社は、次の建設発生土を貴社が管理する(八木山残土処理場)受入地への搬入を申込みます。

なお、受入段階及び引き渡し後、搬入された土砂の中に受け入れ先の品質基準に適合しないものの混入が発見された場合は速やかに撤去します。

1 工 事 名	〇〇地区土砂撤去工事		
2 発 注 機 関	〇〇〇〇〇事務所		
3 契 約 工 期	令和〇年 〇月 〇日 ~ 令和〇年 〇月 〇日		
4 工 事 場 所	福岡県〇〇大字〇〇		
5 搬入土量 (地山)	当初(変更前) 2,000 m ³	変更後 m ³	差引増減 m ³
6 土 質	第2種建設発生土		
7 搬入予定期間	令和〇年 〇月 〇日 ~ 令和〇年 〇月 〇日		
8 一日当 搬入予定土量	159m ³		
9 汚染要因となる環 境項目への該当	☐ 工場・病院跡地など汚染の恐れがある地域 ☐ 法令に基づく届け出、調査を行った地域 ☒ 上記項目には該当しない地域		

チェックを
忘れずに

添付書類

1. 発行申請書 2. 土砂搬入計画書 3. 分割発行申請予定表 4. 運搬車両一覧表
5. 土砂等発生元証明書 6. 工事位置図 (S1/2, 500程度) 7. 運搬経路図 (S1/2, 5000程度)
8. 土質試験結果 (自然含水比試験・室内コーン試験)
9. 地質分析結果証明書 ※ (指定区域内の工事に限る。) 指定区域、別途添付

上記申込記載事項 (1~9) については、計画と相違ないことを申し添えます。

発 注 機 関	担当者氏名 (所属) 〇〇〇〇〇事務所 (氏名) 〇〇 〇〇 印
	連絡先 (電話) 000-000-0000 FAX 000-000-0000

(記入例)

令和〇 年 〇〇 月 〇〇 日

発 券 申 請 書 (第 1 回)

[承諾番号 _____]

NP0法人 清風の里 御中

工事請負者 住 所 福岡県飯塚市〇〇〇1-2-3

法人名 〇〇建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 建設 太郎



工事請負者担当者

電話番号

次のとおり土砂搬入管理券の発券を

搬入先(受入地名)	八木山残土				
発注機関	〇〇〇〇〇				
工事名	〇〇地区土				
搬入申込土量					
既発券土量					
今回発券枚数 及び発券土量	券種	発券枚数	積載土量	発券土量	発券土量の合計
	10 t 車券	200 枚	5.30 m³	1,060.00 m³	
発券土量の合計 × 受入単価 = 税抜金額(1円未満切捨て)					
受入単価	昼 / 夜	(地山 1 m³ 当たり)			1,800 円
支払金額	金額(税抜)	1,908,000 円	消費税(10%)	190,800 円	2,098,800 円
	受入料金	10,000 円	基本料金(第1回目のみ)	1,000 円	11,000 円
	合計	1,918,000 円	191,800 円	2,109,800 円	
	支払予定日	9 月 6 日			
累計発券土量	1,060.00 m³ (a) + (d)				
受入地通行証必要枚数	10 枚				
備考欄	税抜金額 × 0.10(消費税率) = 消費税額(1円未満切捨て)				

下記の通り、お振込み先をご案内申し上げます。

銀行名：西日本シティ銀行

支店番号：060

口座種別：普通 口座番号：2249281

口座名義：株式会社 大功 代表取締役 安岡広之 (カバシカ イヤ タイウ タイヨウトリマリヤ ヤスカヒロキ)

備考：振込手数料はご負担願います。

注意

1) 承諾番号は第2回目以降の発行申請の場合にご記入ください。

2) 積載土量(地山)は使用車輛のトン数を平均単位体積重量で除し、小数第三位以下を切り捨てた数量とします。

(例) 平均単位体積重量が1.8 t/m³の場合 10 t 車...5.30m³、4 t 車...2.22m³、3 t 車...1.66m³、2 t 車...1.11m³

3) 基本料金は新規申込時(第1回)にお支払いください。なお、100m³以下の場合基本料金は発生しません。

税抜金額 + 消費税額 = 支払金額

(記入例)

令和〇 年 〇〇 月 〇〇 日

土 砂 搬 入 計 画 表

1 工 事 名 〇〇地区土砂撤去工事

2 工 事 請 負 者 〇〇建設株式会社

搬入完了予定日は、契約工期以降に
設定することはできません。

3 土砂搬入予定期間 令和〇 年 7 月 22 日 ~ 令和〇 年 11 月 11 日

4 搬 入 申 込 土 量 2,000.00 m³、ダンプ総台数 378 台 (10 t 車)

5 搬 入 予 定

・各月の土量は5.3m³(10t車、1.8t/m³の場合)の倍数とし、最終搬出月に
調整してください。
・搬出がない月が間にある場合は詰めて記載してください。
・ダンプの積載量毎(10t、4t、……)に表を作成してください。

① 〇〇 年 7 月分 土量 212.00 m³/月、平均土量 26.50 m³/日、ダンプ延 5 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
																					○	○	○			○	○	○	○	○

② 〇〇 年 8 月分 土量 530.00 m³/月、平均土量 530.00 m³/日、ダンプ延 10 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		○	○	○																○			○	○	○	○	○			○

③ 〇〇 年 9 月分 土量 530.00 m³/月、平均土量 26.50 m³/日、ダンプ延 5 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○			

④ 〇〇 年 10 月分 土量 530.00 m³/月、平均土量 26.50 m³/日、ダンプ延 5 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
○				○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○		

⑤ 〇〇 年 11 月分 土量 530.00 m³/月、平均土量 26.50 m³/日、ダンプ延 5 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	○	○	○	○	○			○	○	○																				

⑥ 年 月分 土量

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

・各月のダンプの延台数を足したものがダンプ総台数になるように
してください。
・各月の土量の合計が搬入申込土量になるようにしてください。
・日当たりダンプ延台数×積載土量=日当たり平均土量
・日当たり平均土量×月当たり稼働(作業)日数=月当たり土量

(記入例)

令和〇 年 〇〇 月 〇〇 日

発券を分割で申請する場合
のみ提出してください。

分割発券申請予定表

1 工 事 名 〇〇地区土砂撤去工事

2 工 事 請 負 者 〇〇建設株式会社

3 搬 入 申 込 土 量 2,000.00 m³

4 分割申請回数及び発券土量等

申請回数	申請予定日	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 ()は累計土量
第 1 回	6 月 22 日	10 t 車券 t 車券 t 車券	200 枚 枚 枚	5.30 m ³ m ³ m ³	1,060.00 m ³ m ³ m ³	1,060.00 m ³
第 2 回	8 月 15 日	10 t 車券 t 車券 t 車券	180 枚 枚 枚	5.30 m ³ m ³ m ³	954.00 m ³ m ³ m ³	954.00 m ³ (2,014.00 m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	m ³ (m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	m ³ (m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	m ³ (m ³)
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m ³ m ³ m ³	m ³ m ³ m ³	m ³ (m ³)
合計		10 t 車券 t 車券 t 車券	380 枚 枚 枚	5.30 m ³ m ³ m ³	2,014.00 m ³ m ³ m ³	2,014.00 m ³

注意

1) 当書類は発券を分割で申請する場合にのみご提出ください。発券枚数は、搬入申込土量 ÷ 積載土量 (端数切上) により算出します。

2) 積載土量 (地山) は使用車輛のトン数を平均単位体積重量で除し、小数第三位以下を切り捨てた数量とします。

(例) 平均単位体積重量が1.8 t / m³の場合 10 t 車…5.3 m³、4 t 車…2.22 m³、3 t 車…1.66 m³、2 t 車…1.11 m³

搬入申込土量 ÷ 積載土量
(端数切上)

運搬車両一覧表

工 事 名 〇〇地区土砂撤去工事

工事請負者 〇〇建設株式会社

運搬事業者名 (株) 資源工業

住 所 〇〇県〇〇市〇〇 1 - 2

電話番号 〇〇〇-△△△-〇〇〇〇

申請台数	申請する台数を記入				台	例)	筑豊	100	か	1234
1						21				
2						22				
3						23				
4						24				
5						25				
6										
7										
8						28				
9						29				
10						30				
11						31				
12						32				
13						33				
14						34				
15						35				
16						36				
17						37				
18						38				
19						39				
20						40				

※ 注 排ガス規制をクリアしていない車両は使用できません。

※ 注 車検証・運転免許証等の写しを添付する必要はありません。

土砂等発生元証明書

特定事業者名

記入しないでください。

年 月 日

様

発生元事業者

工事請負者を記入してください。
代表者等の職印を押してください。

必ず担当者名を記入してください。

担当者の携帯等直接連絡可能な電話番号を記入してください。

住所 福岡県〇〇市〇〇1-2-3

事業者名 〇〇建設株式会社

代表者又は現場責任者 代表取締役 建設 太郎 (印)

担当者 建設 次郎 (印)

電話番号 (携帯) 000-0000-0000

次のとおり搬出する土砂等が次の工事現場から発生し、又は「地質分析（濃度）結果証明書」の備考欄の記載と一致させてください。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 2 条第 1 項に規定する廃棄物ではありません。

工 事 名	〇〇地区土砂撤去工事
工事施工場所	福岡県〇〇市〇〇
発 注 者	〇〇〇〇〇事務所
当該工事での土砂発生総量 （工事全体の土量）	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日
当該工事に係る土砂等発生総量	7, 0 0 0 m ³ （うち搬出契約量 m ³ ）
今回の証明に係る土砂等の量	2, 0 0 0 m ³
発生土砂等の地質分析（濃度）結果証明書の有無	有 ・ 無 別紙のとおり
発生土砂等の区分	第 2 種建設発生土
発生土砂等運搬契約者名	住所 〇〇市〇〇 氏名 (株) 資源工業 住所 下の行は記入しないでください。 住所 氏名 住所 氏名
発生土砂等埋立事業者名	(一時たい積特定事業場) 住所 氏名 (埋立て等の事業場) 住所 氏名

注 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第 1 に規定する区分を記載すること。

【様式-6】

地質分析（濃度）結果証明書

様

年 月 日

発生事業者名と一致していること

発行番号、検体区分・番号が入っていることを確認してください。

発行番号

分析機関名

分析機関名

所在地

電話番号

計量に用いた方法を記載

計量証明事業者の登録番号

環境計量士

㊞

年 月 日に依頼のあった検体について、溶出試験については平成3年環境庁告示第46号付表、含有量試験については平成15年環境省告示第19号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。

依頼日は試料採取日またはその翌日

			量下限值	基準値	計 量 方 法
溶 出 試 験	カドミウム	mg/l		0.003以下	日本産業規格 K0102 55.2、55.3又は55.4
	全シアン	mg/l		不検出	日本産業規格 K0102 38(38.1.1及び38の備考11の方法を除く) 昭和46.12 環告第59号付表1
	有機燐	mg/l		不検出	昭和49.9 環告第64号付表1、 日本産業規格 K0102 31.1のガスクロマトグラフ法以外のもの
	鉛	mg/l		0.01以下	日本産業規格 K0102 54
	六価クロム	mg/l		0.05以下	日本産業規格 K0102 65.2 (65.2.7を除く)
	砒素	mg/l		0.01以下	日本産業規格 K0102 61
	総水銀	mg/l		0.0005以下	昭和46.12 環告第59号付表2
	アルキル水銀	mg/l		不検出	昭和46.12 環告第59号付表3、昭和49.9 環告第64号付表3
	P C B	mg/l		不検出	昭和46.12 環告第59号付表4
	ジクロロメタン	mg/l		0.02以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	四塩化炭素	mg/l		0.002以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	クロロエチレン	mg/l		0.002以下	平成9.3環告第10号付表
	1,2-ジクロロエタン	mg/l		0.004以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2
	1,1-ジクロロエチレン	mg/l		0.1以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	1,2-ジクロロエチレン	mg/l		0.04以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/l		1以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/l		0.006以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	トリクロロエチレン	mg/l		0.01以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	テトラクロロエチレン	mg/l		0.01以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	1,3-ジクロロプロペン	mg/l		0.002以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1
	チウラム	mg/l		0.006以下	昭和46.12 環告第59号付表5
	シマジン	mg/l		0.003以下	昭和46.12 環告第59号付表6 第1、第2
	チオベンカルブ	mg/l		0.02以下	昭和46.12 環告第59号付表6 第1、第2
	ベンゼン	mg/l		0.01以下	日本産業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	セレン	mg/l		0.01以下	日本産業規格 K0102 67.2、67.3、67.4
	ふっ素	mg/l		0.8以下	日本産業規格 K0102 34.1、34.4 昭和46.12環告第59号付表7
	ほう素	mg/l		1以下	日本産業規格 K0102 47.1、47.3、47.4
	1,4-ジオキサン	mg/l		0.05以下	昭和46.12環告第59号付表8
含 有 量 試 験	銅（農用地）	mg/kg		125未満	昭和47.10 総令66号第1条第3項及び第2条
	砒素（農用地）	mg/kg		15未満	昭和50.4 総令31号第1条第3項及び第2条
	水銀及びその化合物	mg/kg		15以下	昭和46.12 環告第59号付表2
	カドミウム及びその化合物	mg/kg		45以下	日本産業規格 K0102 55.2、55.3又は55.4
	鉛及びその化合物	mg/kg		150以下	日本産業規格 K0102 54
	砒素及びその化合物	mg/kg		150以下	日本産業規格 K0102 61
	六価クロム化合物	mg/kg		250以下	日本産業規格 K0102 65.2 (65.2.7を除く)
	ふっ素及びその化合物	mg/kg		4,000以下	日本産業規格 K0102 34.1、34.4 昭和46.12環告第59号付表7
	ほう素及びその化合物	mg/kg		4,000以下	日本産業規格 K0102 47.1 47.3、47.4
	セレン及びその化合物	mg/kg		150以下	日本産業規格 K0102 67.2、67.3、67.4
検体の性状	形状			色	におい
備考	発生場所：	工事名：			
	発生事業者名：				

※ 計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行かせた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地：

分析対象外の項目は「－」を記入してください。

(記入例)

令和〇 年 〇〇 月 〇〇 日

土 砂 搬 入 完 了 確 認 依 頼 書

[承諾番号 _____]

NP0法人 清風の里 御中

土砂搬入完了の証明書が必要な場合は提出してください。

工事請負者 住 所 福岡県飯塚市〇〇〇1-2-3

法人名 〇〇建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 建設 太郎



次のとおり建設発生土の搬入を完了したので確認書の発行を依頼します。

搬 入 先 (受入地名)	八木山残土処理場				
発 注 機 関	〇〇〇〇〇事務所				
工 事 名	〇〇〇〇〇事務所地区土砂撤去工事				
工 事 場 所	福岡県〇〇大字〇〇				
搬 入 申 込 土 量	2,000.00 m ³				
搬 入 完 了 土 量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10 t車券	360 枚	5.30 m ³	1,908.00 m ³	1,908.00 m ³
	t車券	枚	m ³	m ³	
	t車券	枚	m ³	m ³	
土 砂 搬 入 開 始 日	令和〇 年 7 月 4 日				
土 砂 搬 入 完 了 日	令和〇 年 11 月 8 日				
工事請負者担当者	(氏名) 建設 次郎		(電話) 000-000-0000	(FAX) 000-000-0000	
完了確認書送付先	(宛名) 〇〇建設(株)〇〇作業所				
	(郵便番号) 123-0045 (住所) 〇〇県〇〇市〇〇123				

注意

1) 土砂搬入完了確認書の発行を希望する場合は必ず当書類を提出してください。

(記入例)

令和〇 年 〇〇 月 〇〇 日

土 砂 搬 入 完 了 届

〔承諾番号

NP0法人 清風の里 御中

土砂搬入完了届は土砂搬入完了
確認依頼書や土砂搬入完了精算
書を提出する場合提出不要です。

工事請負者 住 所 福岡県飯塚市〇〇〇1-2-3
法人名 〇〇建設株式会社
代表者職氏名 代表取締役 建設 太郎
現場代理人 氏 名 建設 次郎

印

次のとおり搬入申込土量全量の搬入が完了したので届け出ます。

搬 入 先 (受入地名)	八木山残土処理場
発 注 機 関	〇〇〇〇〇事務所
工 事 名	〇〇地区土砂撤去工事
搬 入 申 込 土 量	2,000.00 m ³
搬 入 完 了 土 量	上記搬入申込土量のとおり
備 考 欄	
工事請負者担当者 (氏名) 建設 次郎 (電話) 000-000-0000 (FAX) 000-000-0000	

注意

※ 土砂搬入完了精算書や土砂搬入完了確認依頼書を提出する場合は当書類（土砂搬入完了届）の提出は不要です。

(記入例)

令和〇 年 〇〇 月 〇〇 日

土砂搬入完了精算書

〔承諾番号

インボイス登録番号を記入してください

(株)建設資源広域利用センター 御中

登録番号: T1234567891234

申込土量より搬入土量が少ない場合は、必ず提出してください。

・未使用券がある場合

・設計変更により搬入土量が減となった場合

代表者職氏名

代表取締役

建設 次郎

印

使用枚数 + 返却券枚数 = 発券枚数となります

搬入申込土量を下回ったので届け出ます。

搬入先(受入地名)	八木山残土処理場				
発注機関	〇〇〇〇〇事務所				
工事名	〇〇地区土砂撤去工事				
搬入申込土量	2,000.00 m ³				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10 t車券	360 枚	5.30 m ³	1,908.00 m ³	
	t車券	枚	m ³	m ³	
	t車券	枚	m ³	m ³	1,908.00 m ³

上記に伴う受入料金の還付を下記のとおり申請します。

未使用返却券枚数 及び返却券土量	券種	返却券枚数	積載土量	返却券土量	返却券土量の合計
	10 t車券	20 枚	5.30 m³	106.00 m³	106.00 m³
	t車券	枚	m³	m³	
返却券土量の合計×受入単価＝税抜金額（1円未満切捨て）					
受入単価	昼 / 夜	（地山 1 m³当たり）			1,800 円
還付金額	（税抜）				190,800 円
	税率：10%				19,080 円
	（税込）				209,880 円
還付先	金融機関	税抜金額×0.10（消費税率）＝消費税額（1円未満切捨て）			口座番号
	〇〇 銀行	（マルマルケンツカフシカ イヤ） 当座			〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
	〇〇 支店	〇〇建設株式会社 普通			
備考欄		税抜金額＋消費税額＝税込金額			
工事請負者担当者		（氏名） 建設 次郎		（携帯） 000-0000-0000	
		（電話） 000-000-0000		（FAX） 000-000-0000	

上記のとおり相違ないことを申し添えます。

発注機関	(所属)	〇〇〇〇〇事務所	
監督員	(氏名)	〇〇 〇〇	印
	(電話)	000-000-0000	(FAX) 000-000-0000

注意

1) 備考欄は工事請負者と払戻先口座名義人が異なるとき、双方の関係をご記入ください。